

ダイビングショップの近くを 歩いて「汚！」と思った海岸



関係すると思うSDGsロゴ

6 安全な水とトイレ
を世界中に



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



テーマ設定の理由

最近、ダイビングをやりて海へ行った時に
その海岸に、ペットボトルやフードパックのようなプラスチックが落ちていて、楽しくダイビングをすることの妨げになったり、実際にプラスチックゴミが海にあるところを見て、「汚い」と思ったから。

現状

・海へ、分解されにくいプラスチックはもちろん、
空き缶やお菓子の袋などが捨てられている

・海へ捨てられたそのようなゴミが捨ててもらえずに海岸に
ずっと残っていたり、時間が経って、海の底に沈んでしまっ
ている。

今後の課題

- ・海や川にゴミを捨てる人を少なくする
- ・ボランティア活動の活動回数を増やし、
れいな状態で保つ

海をき



課題の解決策

静岡県ボランティア活動の回数を見てみたら、

1月と4～8月に2回ずつの程度で街中のゴミ拾いがされていた。

掃除は毎日、回数を重ねることで全体をきれいにさせる

ことができるものなので、

1, 4～8月の2回ずつを回数は変えず、毎月2回のペースで

ボランティア活動をし、回数を重ねることで、集団による、ボランティア活動を通さなくても、ゴミを捨てるような行為を見逃さず、自分もしなくなると思う。



私からの提言

私達人間が何気なく捨てたプラスチックを

魚が食べ、その魚を漁師が獲り、私達のところへプラスチックと一緒に届けられます。

また、その捨てたプラスチックが長年分解されずに海の汚染の原因になってしまいます。

それでは「地球が滅ぶ」というのも無理ないと思います。

地球を守りたければ、地球の美化に努めるべきではないのでしょうか。



Photo: NOAA <https://iic.rnp/Tdq6CW> (CC BY-NC 4.0)

感想

静岡県にダイビングをするために行ったときに見つけた環境問題で とても気になっていたことだったが、それを見つけて悩んでいた矢先に、このような発表の場が設けられていることがわかったときは、とても幸運だなと思った。このプレゼンテーションを見ていただき、海や川、街の中、森の中がきれいになり、それを維持できるように 世界の国の1人ひとりが「周りの環境をきれいにしよう」と美化に協力してくれればいいなと思う。